

I 概況

平成18年7～9月期の出荷数量は、建築向けは増加したものの、土木向けが減少したことにより22,562.5千㎡、前年同期比▲1.7%の減少となった。

1. 需要先別の動向

建築向けは14,687.6千㎡、前年同期比2.2%の増加となった。このうち民需向けは、住宅向けが7,905.2千㎡、同4.5%の増加、非住宅向けが4,965.5千㎡、同3.2%の増加となった。また、官公需向けは1,816.9千㎡、同▲8.7%の減少となった。

土木向けは7,874.9千㎡、同▲8.4%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは608.7千㎡、同5.5%の増加、港湾・空港向けは874.1千㎡、同▲19.4%の減少、道路向けは2,314.9千㎡、同▲3.1%の減少となった。

2. 地域別の動向

経済産業局（沖縄は内閣府沖縄総合事務局）別にみると、北海道は1385.8千㎡、前年同期比▲7.5%の減少。このうち土木向けは607.3千㎡、同▲15.5%の減少、建築向けは778.5千㎡、同▲0.1%の減少となった。鉄道・電力向けや住宅向けなどは好調だったものの、港湾・空港向けや道路向けなどが低調であった。

東北は1,907.4千㎡、同4.0%の増加。このうち土木向けは882.3千㎡、同2.3%の増加、建築向けは1,025.1千㎡、同5.5%の増加となった。港湾・空港向けや官公需向けは低調だったものの、道路向けや非住宅向けなどが好調であった。

関東は8,578.4千㎡、同0.2%の増加。このうち土木向けは2,160.1千㎡、同▲3.0%の減少、建築向けは6,418.4千㎡、同1.3%の増加となった。官公需向けや港湾・空港向けなどは低調だったものの、住宅向けや道路向けなどが好調であった。

中部は2,516.5千㎡、同▲2.6%の減少。このうち土木向けは810.3千㎡、同▲14.1%の減少、建築向けは1,706.2千㎡、同4.0%の増加となった。住宅向けや鉄道・電力向けなどは好調だったものの、港湾・空港向けや官公需向けなどが低調であった。

近畿は2,645.3千㎡、同▲3.6%の減少。このうち土木向けは974.8千㎡、同▲14.3%の減少、建築向けは1,670.6千㎡、同4.1%の増加となった。非住宅向けや鉄道・電力向けは好調だったものの、港湾・空港向けや道路向けなどが低調であった。

中国は1,331.6千㎡、同▲7.6%の減少。このうち土木向けは594.6千㎡、同▲15.8%の減少、建築向けは737.0千㎡、同0.3%の増加となった。官公需向けなどは好調だったものの、港湾・空港向けや道路向けなどが低調であった。

四国は1,149.0千㎡、同▲8.6%の減少。このうち土木向けは637.9千㎡、同▲19.6%の減少、建築向けは511.1千㎡、同10.3%の増加となった。非住宅向けは好調だったものの、港湾・空港向けや道路向けなどが低調であった。

九州は2,560.0千㎡、同1.4%の増加。このうち土木向けは1,101.1千㎡、同1.9%の増加、建築向けは1,458.9千㎡、同1.1%の増加となった。港湾・空港向けや官公需向けなどは低調だったものの、鉄道・電力向けや非住宅向けなどが好調であった。

沖縄は488.4千㎡、同▲5.7%の減少。このうち土木向けは106.6千㎡、同▲16.0%の減少、建築向けは381.8千㎡、同2.4▲%の減少となった。道路向けなどは好調だったものの、港湾・空港向けや官公需向けなどが低調であった。

3. 月別の動向

土木向けは、7月は2,542.7千㎡、前年同期比▲11.0%の減少、8月は2,483.0千㎡、同▲8.7%の減少、9月は2,849.2千㎡、同▲5.7%の減少となった。

建築向けは、7月は4,891.3千㎡、同0.0%の横ばい、8月は4,625.5千㎡、同1.3%の増加、9月は5,170.8千㎡、同5.3%の増加となった。

全体では、7月は7,434.0千㎡、同▲4.1%の減少、8月は7,108.5千㎡、同▲2.4%の減少、9月は8,020.1千㎡、同1.1%の増加となった。

4. 設備能力及び従業員数

9月末の全国のプラントの基数は2,405基で、前期末（6月末）より17基の減少、前年同期末より61基減少している。月間生産能力は61,722千㎡、前年同期比▲1.9%の減少となっている。

従業員数は、31,994人、前年同期末（17年9月）より1,326人（▲4.0%）減少している。